

施設の自己評価

◎行事の際、自分なりに積極的に準備に取り組めていたか？また工夫したことは？

- ・自分なりに準備を積極的に進めてはいたが、準備が追い付かず手伝ってもらった事が多かったように感じる。
- ・避難訓練の花火の扱い方や、げんキッズの体の仕組みの時は、子ども達にどのように話をしたらわかりやすいか考えた。
- ・何事にも積極的に取り組めたと思う。
- ・自分だけでなく、他の保育士にも意見を聞き、一つの方法にとらわれず柔軟な考え方が出来るようにした。
- ・運動会、発表会では題材にしたい曲やストーリーを提案し担任保育士同士で相談しながら指導を進めた。練習に参加出来ない子がいた時にはその子の気持ちを受け止めながらも、練習を見学させたり一度だけ参加するように促したりした。歌や踊りが好きな子が多く、自身も音楽系を得意としているので、歌から導入し楽しんで取り組めるように心掛けた。
- ・自分だけでは出来ないなので、同じ係の保育士にアドバイスをしてもらったり、話の輪の中に積極的に入っていくことで、情報を集めたり、頼まれた事以外にもやるべき仕事を探していくよう心掛けた。
- ・自分が中心になって行動の準備を進めた時は、とにかく周りが見えなくなりがちなので、先輩保育士に確認を取ったり情報を共有することで認識のずれややり漏れのないよう注意した。
- ・すべての行事の中でどのような順序で当日まで準備が運ばれていくかよくわかっていなかったため、行事のファイルを見て昨年の反省ではどのような事が書かれているか流れなども確認し自分で出来る所は積極的に取り組むように努力しました。
- ・初めて祭りの係について事前の準備の大変さを感じた部分もあったが、自分なりに積極的に取り組むことが出来た。
- ・普段はあまり関わりのない異年齢児クラスの保護者とも祭りの中で関わる事が出来て良かった。

《全体での話し合いの内容》

○先輩保育士について仕事内容を覚えたり自分で進めた。自分なりに取り組みを工夫したが今年度に活かしていく内容は

- ・行事は職員同士で情報を共有していく。
- ・傍観者にならずくらいついていく気持ちを持つ。
- ・頼りすぎずに自分で出来ることは責任を持って行う。

○行事の中で大変だったことはどんな行事だったか。

- ・幼児組の場合卒園式や入園式が大変だった。
- ・一人でやらなければいけないという気持ちが大きく助けてほしい、手伝ってほしいと言えない時もあった。
- ・自分が大変だと思ったら、乳児の保育士に頼んだり出来る雰囲気を作る事が大切。年上の保育士にも遠慮せずをお願いすることも大切だと思う。

◎毎日の保育において主担当の日は、リーダーとして取り組めていたか？その際、特に工夫したことは？

- ・一日の保育の設定を考え、実行した。
- ・前もって保育の内容を考えたりしたが、事前準備が出来ていなかったり当日の職員配置の関係で実行出来ないこともあった。
- ・主担当の日は司会として進めていったが、保育の内容は担任同士で話をして決める様にした。
- ・相手の職員が他クラスに入ることが殆どだったが、子ども達にその不安が伝わらないよう気を付けた。
- ・保育計画は決めているが、子ども達の様子を見て内容を変更した事も多かった。
- ・リーダーとしての素質に欠けている事は自覚している。まずは同じクラスの先輩保育者のやり方を良く見る様にしている。真似を出来る所は真似をしていく。
- ・子ども達の先輩に対する態度と自分に対する態度は違う事を理解した上で先輩保育士のやり方を真似しながらもより子供の近い視線で子ども達の興味や関心を引き出しながら「楽しんで」子ども達の先頭を進める様務めた。
- ・初の一歳児クラスで子どもがどこまで自分で出来どこまで手伝ったらよいかかわらず進行の時、迷ってしまう事もあり初めての散歩やプール、発表会での舞台練習など時間が遅くなってしまったので時間にも気を付けながら行った。
- ・話をしても全員が集中して注目していないのでどうしたら話を聞いてくれるのか、他の先生たちはどうしているのか、自分なりにどうしようかななど日々、考えながら保育を行った。
- ・子どもが揃う揃わない関係なく、朝の会では子どもの名前を呼んだり声掛けをし、子どもと必ずコンタクトを取れるよう関わる。
- ・一歳を迎え歩行するようになる月齢の子どもは増えていくため、転倒や怪我を防ぐことが出来るよう十分注意し見守るようにした。

《全体での話し合いの内容》

○主担当が苦手な人に対し保育年数を重ねることも大事だがアドバイスはあるか。

- ・優しいだけでなく保育にメリハリが大事。子どもも若い先生は何でもやってくれる思う。そこをメリハリを付けることで声掛け一つでも色々なバリエーションを作り試してみる事も大事。
- ・子どもとの関係を作ることが大切で子どもが好きでいてくれる先生でいることが大切。一緒に楽しく遊ぶ時は遊び、集中させるときには集中させるメリハリを作る。

○時間配分について

- ・保育の中で時間を気にする事も大切。保育者が時間に追われたりバタバタしてもいけない。保育の経験の中でちょうど良い時間配分を知った。

○クラスの様子を十分見て、子どもを流していく。保育に余裕を持ち、時間配分を十分考えていくことが大切。

◎保護者対応について苦労したこと、工夫したこと？

- ・積極的に保護者に子ども達の様子を伝えられるように努めた。また、一日すみれ組におらず、夕方から戻るような時は伝達事項を担任同士で確認し合った。
- ・保護者の話をよく聞き、子育てについてやプライベートな話など共感したり、アドバイスをしたりと親身になる事で話しやすい環境を作れるようにしていった。
- ・気になると感じた子は何人かいたが、保護者に上手く子どもの様子を伝えられなかった。保護者も「気になる」と感じている場合は言葉を選びながらも事実を伝え、子どもの姿を共有する事が出来たが「気になる」と感じていない方、または感じているが事実を受け入れてくれず話も聞こうとしてくれない方へは、相手の表情などを気にしてしまうあまり伝えられないこともあった。
- ・送迎の短い時間でしか言葉を交わさなかったり、ほとんど顔を合わせない保護者もいるので、こちらの言葉や意図が相手にきちんと伝わらず、誤解されてしまう事もあった。保護者にとっては、園での子ども達の様子はわからないと、不安になったり疑心暗鬼になってしまう事もあると思うので、日常的に園での様子をこまめに伝えたり、一人ひとりと必ず話をする事で、信頼してもらえるよう努めた。
- ・朝や帰りの際、少しでもその日のエピソードがあったら伝えられるよう努力しました。その子の可愛らしかった事、面白かった事など言葉で伝えるのは難しかった。
- ・怪我をした時の対応について保育士間での確認をした上で特に怪我の程度について、些細な怪我でも神経質な保護者の方もいるので早めに連絡を入れる様に気を付けたいと感じた。

《全体での話し合いの内容》

○子どもの様子を細かく伝えてくれる保育士に保護者は安心感を持つ。

複数担任の為、上の保育士が上手く伝えてくれるだろうと思ってしまう事もある。

保護者にすれば、話してくれる人が良く見ていると思う事もある。また、保護者によって反応も違うので苦手とってしまうと話しづらくなる。

話しづらい保護者に逆に積極的に話をしてみてはどうか。

○保護者に聞かれて困ったことはあるか。

- ・自分で解決できない内容の時は必ず、同じクラスの保育士に助けを求める。

○あまり反感をかうようなことは良くないが、色々な保護者がいるいるので、保護者に合った対応をしていくことが大切。

◎保育計画に沿った保育が出来ていたか？

- ・しっかりと保育計画に沿っての保育は出来なかったと思う。
- ・沿った保育を行うようにしていた。しかし、活動の中で計画よりも良い保育が見つければ臨機応変に対応していくようにした。
- ・出来ていたと思うが、事前準備が十分でなかったと感じることが多かった。
- ・自分の思い描く保育が完璧に出来ていた日はほとんどないが、出来るよう努力はした。
- ・月案は製作していないが、同じクラスの保育士から子ども達のこれから育ててほしい所や、出来る所などを教えてもらったり、聞きながら保育を進めていきました。
- ・個々に発達段階が違うことを踏まえ、個々に合った支援や援助が出来るように心掛けた。
- ・製作を考える時に早め早めに準備を行ったり、自分が先立って積極的に伝えると良かった。

《全体での話し合いの内容》

○理想とのギャップがある。ギャップをなくしていくためにどんな保育をしていけば良いか。

- ・指導案や月案をただ作成するだけでなく、見直すことも大切だと思う。